

いのちを後回しにしない政治をいま、沖縄から。

みおのクローン便り



第9号2015年10月26日

仲村 未央

沖縄県議会議員

幸せを呼ぶというクローンのように 多様で 多彩に しなやかに

議会報告その②(平成27年第7回沖縄県議会(定例会)一般質問)

■子供の貧困対策について

仲村未央 本県の子供を取り巻く経済環境は、他県にも増して深刻だ。県民所得は全国平均7割だが、消費物価は全国並み、九州比ではむしろ高い値にあり負担感は大きい。発達、学習、進学、就業など多面的な影響が懸念されるが、「子供の貧困」と言われる実態をどう可視化し、関係機関が適切に実態を共有できるか。実効性を持って施策を展開するためにも、従来から行っている医療、保健、保育、子育て支援、学習支援、若年雇用対策等の施策を整理し、体系的に取り組む必要があると考える。子ども貧困対策の計画策定に当たり、考え方を伺う。

知事 子供の貧困に関する本県の厳しい状況を踏まえ、平成27年度中に「子どもの貧困対策計画」を策定する。同計画に基づき子供の貧困対策を効果的に推進するには、沖縄県の子供の貧困の実態を把握することが重要だ。このため、外部有識者等で構成する「子どもの貧困対策に関する検討会」から意見を聴取するとともに、子供の貧困に関する実態調査を実施している。今後は、子供の貧困対策に関する県の事業を体系的に整理するとともに、実態調査等を踏まえ必要な施策を新たに盛り込むなど、総合的な子供の貧困対策に取り組む。

仲村未央 経済的に困難な子供は全国的には6人に1人とされているが、沖縄県の非課税世帯等の現況をみると、3人に1人という数字が出てもおかしくない。県レベルの実態調査は初で、全国も注目しており、また市町村の取り組みのベースにもなる。体制づくりをし、実態に即した、実効性のある取り組みが求められると思うが、いかがか。

子ども生活福祉部長 県だけではなく、市町村含め、民間関係団体含めて全体的な取り組みは必要だ。知事を筆頭に両副知事、関係部局長で全庁的に取り組むということを進め、新たな施策も含めてしっかりと計画の中に位置づけたい。

憲法、自治、米軍基地問題、こどもの貧困、労働者の権利などのテーマで講演や勉強会も行っています。ご意見、お問合せがありましたら、どうぞご連絡ください。

電話：098-989-1638(みお事務所)、098-866-2702(沖縄県議会会派室)

Eメール：go@miomio.ne.jp

住所：〒904-0011 沖縄市照屋1-7-19(なかむらみお後援会事務所)

追伸

みなさんは「ももやまこども食堂」を知っていますか？下の写真はことし5月に食堂開設のお知らせを兼ねて、カレーパーティーを開いた時のようすです。



「こども食堂」の試みは県内で初。地域の関心も高く、自治会の皆さんをはじめ教育関係者や専門の学生らも参加しました。

健やかな食と、みんなで食べる、温もりのある団らんを通じてからだと心を育み、明日につながる笑顔を、こどもと、大人と、ゆとり共有できる場所になればと思います。

野菜など食材の提供、食事をつくってくださる方、また、訪れるこどもたちの学習支援など、ボランティアも募っています。関心のある方はぜひ、ご連絡ください。